

スクロールを やめる ジャネリン

つぎの動画を見たくて
たまりませんでした。
つぎの動画も。その次の動画も。

シャーロット・ラーカバル・
スピークマン
(ほんとうにあった話をもとに書かれました)

このお話はマレーシアでの出来事です。

ジャネリンが携帯電話の画面を親指でスワイプすると、動画が次々にあらわれました。いったん止まって一つ動画を見て、それからまたスクロールしました。そしてまた別の動画で止まりました。悪い言葉がたくさん出てきましたが、面白かったので、そのまま見ました。

そしてさらにスクロールし続けました。「ジャネリン! 絵をかかない?」妹のジョジョが紙をひらひらさせました。ジャネリンはちらりと目を上げました。「今はやめておく。」

「分かった。」ジョジョは顔をしかめて、紙を下に置きました。

スクロール。またスクロール。さらにスクロール。かわいい動物の動画。有名人の動画。ダンスをする子たちの動画。見るのはよくないと分かっている動画もいくつかありました。いいえ、「いくつか」よりももっと多かったかもしれません。ジャネリンは見るのをやめるべきだと感じ始めました。

でも、良いものだってたくさん投稿されているから、と思いました。いくつかの動画から、絵をかいたら新しい方法だって学んだことがあるのです。

「ジャネリン」とお母さんがよびました。

「ん?」今度は、ジャネリンは目を上げることもしませんでした。

「今夜はシーフードのチャーハンよ」とお母さんが言いました。「作るのを手伝ってくれる?」

ジャネリンはシーフードのチャーハンが大好きでした。でも、今すぐ起き上がりたくありません。

「テーブルのじゅんぴだけでもいい?」とジャネリンはたずねました。「あとでお皿もあらうから。」

「いいわよ」とお母さんが答えました。「でも、たのんだらすぐにテーブルのじゅんぴをしてね。そして、そのときは携帯電話を返す時間よ。いい?」

「いいわ」とジャネリンは言いました。

ジャネリンは動画を見続けました。そしてまた、見るべきではないと感じました。でも、次の動画を見たくてたまりません。その次の動画も。その次の動画も。スクロール。さらにスクロール。やめることができません!

ついにジャネリンは携帯電話を下に置きました。最後にもう一つだけ動画を見てもいいのではないのでしょうか……。

いいえ、とジャネリンは自分にきっぱりと言いました。せいいいのうながしを受けていたジャネリンは、耳をかたむけたいと思っただけです。ジャネリンの手はまだ携帯電話の近くにありま。なんと強いゆうわくでしょう! ジャネリンは目をぎゅっとつむりました。

愛する天のお父様、とジャネリンは心の中でいのりました。せいいいに耳をかたむけようがんばっていますが、助けが必要です。動画を見るのをやめたいのですが、その方法がわかりません。イエス・キリストの御名により、アーメン。

ちょうどそのとき、お母さんがテーブルのじゅんぴをするように声をかけました。ジャネリンはぱっと立ち上がってほほえみました。それは電話からはなれる一つの方法だったのです。

ジャネリンはお皿をテーブルにならべました。「お母さん、携帯電話で良くないものを見てしまったの」とジャネリンは思わず言いました。

お母さんは料理から目を上げて言いました。「どんなもの?」

「悪い言葉とか、悪い動画とか。」ジャネリンはかたをすくめました。「でも、そんなに悪いわけでもないかな。」

「良くないものを見たとき、あなたはどうしたの?」お母さんが聞きました。

ジャネリンはしばらくだまったまま、それぞれの場所にコップを置きました。

「そのまま見ていた」とジャネリンは答えました。「どうしてだろう。でも、せいいいがやめるように言われたので、助けを求めているのだったの。」

お母さんは湯気の立つシーフードチャーハンをテーブルの上に置きました。「時々、良くないと分かっている、やめるのがほんとうにむずかしいことがあるわ」とお母さんは言いました。「そんなとき、わたしたちができるいちばん良いことは、いのることよ。」

ジャネリンはにっこり笑いました。「じゃあわたしは正しいことをしたのね。」

「そのとおり。」お母さんはテーブルに置くスプーンをジャネリンに手わたしました。「そして、インターネットがすべて

悪いわけではないのよ。友達とつながり、知識を分かち合うのに役立つわね。でも、すべての悪いことから遠ざかるのがむずかしいこともあるの。これからは、動画を見るときはいつも一緒に見ましょう。そうすることで、もし何か悪いものを見たらお父さんやわたしが助けられるから。」

ジャネリンはうなずきました。次は、ジャネリンはお母さんやお父さんと一緒に動画を見ることでしょ。でもそれまでに、携帯電話なしでできる楽しいことがたくさんあります。

「みんなに夕食の時間だと言ってもらえる?」お母さんが言いました。

「うん! そして夕食の後は、ジョジョと一緒に絵をかくの!」●

